



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 株式会社 ニチイ学館

上場取引所 東

コード番号 9792 URL <http://www.nichiigakkan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務本部長 (氏名) 寺田 孝一

TEL 03-3291-2121

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	123,342	3.1	4,902	44.1	4,855	30.3	2,208	66.2
23年3月期第2四半期	119,623	6.2	3,401	41.9	3,727	62.6	1,329	96.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,233百万円 (85.0%) 23年3月期第2四半期 1,207百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	31.98	—
23年3月期第2四半期	19.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	146,365	53,969	36.7
23年3月期	125,781	52,200	41.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 53,681百万円 23年3月期 51,944百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,700	5.3	11,000	39.8	11,700	21.1	5,700	63.9	82.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	73,017,952 株	23年3月期	73,017,952 株
24年3月期2Q	3,956,691 株	23年3月期	3,956,331 株
24年3月期2Q	69,061,418 株	23年3月期2Q	69,062,344 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(業績予想の1株当たり当期純利益の計算について)

平成23年10月31日公表の「株式会社ニチイ学館による株式会社GABAの株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、平成23年12月5日を効力発生日とする株式交換によりGABA普通株式1株に対して、ニチイ学館普通株式250株を割当交付いたします。ニチイ学館がGABAの株主に交付するニチイ学館普通株式は、ニチイ学館の保有する自己株式382,250株を充当する予定であります。業績予想の1株当たり当期純利益の計算においては、これに伴い減少した自己株式を考慮して算定しております。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

ニチイグループを取り巻く事業環境に関しましては、平成23年6月に「社会保障と税の一体改革案」が取りまとめられ、「子ども・子育て」では幼保一体化の実現や保育の量的拡充、「医療・介護サービス」では医療・介護の連携強化に基づくサービスの効率化・重点化、機能強化等の方針が示され、社会保障分野での安定財源確保のための税制改革とともに、中規模・高機能で中長期的に持続可能な社会保障制度の実現に向けた議論が進められております。

そのような事業環境の中、ニチイグループでは、長期利益の安定成長を目指し、医療関連事業における各種医療経営支援サービスの拡充や、ヘルスケア事業における介護保険外サービスの拡充等、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

教育事業においては、平成23年8月8日から9月21日にかけて実施した、マンツーマン英会話レッスン市場のリーディングカンパニーである株式会社GABA（以下、GABA）の株券等に対する公開買付けにより、発行済普通株式の96.59%を取得し、連結子会社化（平成23年9月29日付）いたしました。今後は、株式交換により完全子会社化し（平成23年12月5日予定）、当社がこれまで手掛けてきた語学学習の一層の発展・拡大を図るとともに、事業資源の有効活用による効率的な講座展開を推し進める等、語学講座の展開強化に取り組み、景気変動リスクに強い事業基盤の構築を図ってまいります。

また、英会話事業への本格参入は、教育事業にとどまらず保育事業における幼児教育コンテンツの拡充や、医療関連事業における国際医療交流の推進等、各事業とのシナジーが期待できる新サービスの展開に不可欠であり、競争力の源泉として各事業との連携を強化してまいります。

東日本大震災の影響につきましては、グループの総合力を結集するとともに、各現場スタッフが、強い使命感を支えに厳しい状況下においてもサービス提供に最善を尽くした結果、各事業でのサービスは、ほぼ維持されております。

その他被災地における支援活動では、訪問入浴車輛の派遣や生活物資の援助等を行い、平成23年8月には、岩手県釜石市にて「高齢者等サポート拠点設置運営事業委託業務」を受託する等、引き続き被災地復興に向けた支援を続けております。

経営成績につきましては、震災の影響により被災エリアにおいて一時的に売上高が減少したものの、医療関連事業における病院売上高が堅調に推移し、ヘルスケア事業におけるサービス利用者数も順調に推移したことから、過去最高の売上高を4期連続で更新いたしました。

利益面におきましても、主力事業における業務効率の改善が期初の見通しを上回って進んだことから大幅増益となり、過去3番目の利益水準となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は123,342百万円（前年同期は119,623百万円）、営業利益は4,902百万円（前年同期は3,401百万円）、経常利益は4,855百万円（前年同期は3,727百万円）、四半期純利益は2,208百万円（前年同期は1,329百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### <医療関連部門>

医療関連部門につきましては、引き続き契約適正化戦略を実施しており、経営支援サービスの活用による民間病院を中心とした新規契約の獲得や、契約業務拡大のため営業活動の強化等を推進したことにより、売上高は堅調に推移いたしました。利益面につきましては、スタッフの処遇改善から顧客満足度の向上に繋がる契約適正化戦略の成果が顕著に表れ、事業の効率性が改善しており、前年同期比31.6%の増益となりました。

経営支援サービスにおいては、音声認識技術を活用した「サイバークラーク」事業のプロモーション強化や診療圏調査サービス『メディアアンテナ』の全国リリースを開始する等、各種経営支援サービスの拡充に取り組んだほか、医療の国際化に対応する医療交流サービス等の準備を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は51,443百万円（前年同期は51,213百万円）、営業利益は3,884百万円（前年同期は2,951百万円）となりました。

#### <ヘルスケア部門>

ヘルスケア部門につきましては、訪問介護等の在宅系介護サービスの利用者、グループホーム等の居住系介護サービスの入居者が順調に増加しており、引き続き増収増益基調となりました。居住系介護サービスにおいては、施設の新規開設は計画通りに進捗しており、開設後の稼働率も好調に推移し、増収増益に寄与しております。

第2四半期連結累計期間における新規拠点開設状況は、在宅系介護サービスでは、訪問介護事業所を21カ所（全1,043カ所）、通所介護事業所を10カ所（全304カ所）、居宅介護支援事業所を23カ所（全717カ所）、福祉用具貸与事業所を2カ所（全134カ所）、医療との連携を図るべく本格展開を開始した訪問看護事業所を16カ所（全18カ

所)開設いたしました。居住系介護サービスでは、ニチイのほほえみを16カ所(全233カ所)、ニチイのきらめきを4カ所(全38カ所)開設いたしました。

介護保険外サービスにつきましては、障がい福祉サービスを中心に事業規模が順調に拡大しており、今後も、制度リスクを回避するだけでなく、お客様の生活全体を支え、顧客満足度の更なる向上を目指したサービス提供体制を構築すべく、事業領域の拡大を推進してまいります。

急速な成長が期待される中国における事業展開では、平成23年9月20日に発表いたしました「当社子会社、株式会社ニチイケアネット中国新会社設立、及び中国企業からの事業譲受について」の通り、中国における福祉用具卸販売の新会社設立(平成24年1月設立予定)を決定しており、常州中進医療器材有限公司との間で、事業の一部譲受を基本合意する等、今後の福祉用具卸販売事業の本格展開に向けた準備を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は65,836百万円(前年同期は61,126百万円)、営業利益は4,758百万円(前年同期は3,102百万円)となりました。

#### <教育部門>

教育部門につきましては、雇用環境が落ち着きを取り戻す中、資格ニーズは低下傾向となり、当社の主力講座である「医療事務講座」「ホームヘルパー2級講座」の受講生数は、前期と比べ減少いたしました。

『Webカレッジ』におきましては、平成23年9月に仕事や生活に役立つ「簿記・会計」「IT・パソコン」等12講座を新たに開講し(全72講座)、受講生層の拡大を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,900百万円(前年同期は7,073百万円)、営業利益は358百万円(前年同期は1,043百万円)となりました。

教育事業では、グローバル化による外国語取得ニーズの高まりにあわせ、『Webカレッジ』を用いた語学学習を展開しておりますが、GABAの語学スクールのノウハウを活かし、当社とのシナジーを最大限に発揮できる教室展開や『Webカレッジ』と融合した講座展開等の準備を進めてまいります。今後、語学教育分野に本格的に参入することで、教育事業の一層の差別化を図り、強固な事業基盤を構築し、安定収益の確保を目指してまいります。

なお、GABAの経営成績につきましては、当第2四半期連結累計期間においては、平成23年9月30日現在の貸借対照表を連結しております。損益計算書の連結決算への組み入れは平成24年3月期第3四半期からを予定しております。

#### <その他>

その他の部門につきましては、平成23年4月にグランドオープンを迎えました『レイクウッズガーデンひめはるの里』では、「感動」「癒し」をお客様に提供するため、さまざまな施策を実施し、プロモーション活動も積極的に行ってまいりました。

また、同パークの素材を各事業において活かすべく、セラピー犬として優れた資質をもつ『オーストラリアン・ラブラドル』による介護施設等でのドッグセラピーの展開に向け準備を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は161百万円(前年同期は209百万円)、営業損失は250百万円(前年同期は営業利益5百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20,584百万円増加し、146,365百万円となりました。主な要因は、株式会社GABAを新規連結したことに伴う有価証券などの増加により流動資産が6,018百万円増加し、のれんの増加などにより固定資産が14,566百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ18,815百万円増加し、92,396百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加などにより流動負債が15,855百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,769百万円増加し、53,969百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきまして、平成23年5月16日に発表いたしました業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月7日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。  
 なお、平成23年5月16日付の決算短信で発表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	250,000	9,000	9,300	4,500	65.16
今回修正予想 (B)	253,700	11,000	11,700	5,700	82.39
増減額 (B - A)	3,700	2,000	2,400	1,200	—
増減率 (%)	1.5	22.2	25.8	26.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	240,827	7,868	9,660	3,478	50.37

## 2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,912,556	5,694,313
受取手形及び売掛金	29,891,605	31,133,248
有価証券	—	1,498,845
商品及び製品	404,983	460,448
仕掛品	4,283	2,861
原材料及び貯蔵品	278,660	343,720
その他	9,728,268	11,092,781
貸倒引当金	△56,829	△44,565
流動資産合計	44,163,528	50,181,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,596,675	26,865,203
その他(純額)	13,730,227	18,707,946
有形固定資産合計	40,326,903	45,573,149
無形固定資産		
のれん	13,564,666	21,882,593
その他	5,453,793	5,048,303
無形固定資産合計	19,018,460	26,930,896
投資その他の資産		
その他	23,331,685	24,723,338
貸倒引当金	△1,059,406	△1,043,417
投資その他の資産合計	22,272,279	23,679,921
固定資産合計	81,617,643	96,183,967
資産合計	125,781,172	146,365,621
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,919	776,127
短期借入金	1,318,002	11,278,002
未払法人税等	3,538,277	3,110,932
未払費用	14,457,396	14,974,996
賞与引当金	4,223,744	5,211,738
役員賞与引当金	35,100	22,950
その他	15,003,932	20,036,947
流動負債合計	39,556,372	55,411,693
固定負債		
長期借入金	18,991,565	17,389,460
退職給付引当金	4,428,149	4,600,754
役員退職慰労引当金	157,921	159,136
資産除去債務	1,233,067	1,333,952
その他	9,213,699	13,501,028
固定負債合計	34,024,403	36,984,332
負債合計	73,580,776	92,396,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,354,214	17,354,214
利益剰余金	29,492,922	31,217,936
自己株式	△6,789,290	△6,789,454
株主資本合計	51,991,637	53,716,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,849	△34,608
その他の包括利益累計額合計	△46,849	△34,608
少数株主持分	255,608	287,716
純資産合計	52,200,395	53,969,595
負債純資産合計	125,781,172	146,365,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	119,623,409	123,342,241
売上原価	95,685,813	97,974,085
売上総利益	23,937,596	25,368,156
販売費及び一般管理費	20,535,625	20,465,929
営業利益	3,401,970	4,902,227
営業外収益		
受取利息	55,702	66,281
受取事務手数料	57,552	57,552
受取賃貸収入	89,602	122,024
雇用創出事業受託料	227,424	44,104
補助金収入	98,484	102,410
その他	131,313	85,050
営業外収益合計	660,079	477,424
営業外費用		
支払利息	279,823	437,231
賃貸費用	25,336	28,151
その他	29,506	58,586
営業外費用合計	334,667	523,970
経常利益	3,727,383	4,855,681
特別利益		
固定資産売却益	210	—
賞与引当金戻入額	111,148	—
投資有価証券売却益	5,119	—
特別利益合計	116,478	—
特別損失		
固定資産除却損	28,792	10,189
災害による損失	—	70,838
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	504,813	—
確定拠出年金制度移行に伴う損失	—	155,795
その他	5,716	—
特別損失合計	539,321	236,823
税金等調整前四半期純利益	3,304,540	4,618,858
法人税、住民税及び事業税	1,953,541	2,471,223
法人税等調整額	1,306	△73,851
法人税等合計	1,954,847	2,397,371
少数株主損益調整前四半期純利益	1,349,692	2,221,486
少数株主利益	20,542	12,954
四半期純利益	1,329,149	2,208,532

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,349,692	2,221,486
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△142,146	12,241
その他の包括利益合計	△142,146	12,241
四半期包括利益	1,207,546	2,233,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,187,003	2,220,773
少数株主に係る四半期包括利益	20,542	12,954

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

(株式交換による株式会社GABAの完全子会社化)

当社は、平成23年10月31日開催の取締役会において、平成23年12月5日を株式交換の効力発生日として、当社の連結子会社となった株式会社GABAを完全子会社とすることを決議いたしました。

1. 株式交換の概要

(1) 結合当事企業の名称 株式会社GABA

(2) 企業結合の法的形式 株式交換

なお、当社は会社法第796条第3項本文の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を得ずに行います。

(3) 株式交換の日 平成23年12月5日(効力発生日)

(4) 株式交換の目的

株式会社GABAを当社の完全子会社とすることにより、迅速な事業展開と経営資源の連携によるシナジー効果の発現が期待され、グループとしての企業価値向上を図ることができると考えております。

(5) 株式交換の内容

株式会社GABAの普通株式1株につき当社の普通株式250株を割当て交付致します。なお、当社は新株式の発行に代えて、当社が保有する自己株式382,250株を充当する予定であります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。